

私は、昭和四年ミス神戸に当選し、同六年に芸名山路ふみ子として映画、『神戸行進曲』でデビュー以来、戦前の映画界の主役の一人として活躍し、今日の地位を築くことができました。

ところが、一昨年脳血栓により入院し、以来リハビリテーション中であります。こういった体験から生と死の瞬間に立ち会うことの最も多い看護について強い関心を持つようになりました。

わが国が近年福祉厚生面の充実により、世界有数の長寿国となり、国民は豊かな生活水準を享受するに至ったのは勤勉な国民性と高い医学水準の賜物であります。しかしながら看護教育面では、第二次世界大戦直後に定められたその看護制度は、当時の医学水準から専門学校を主体とする看護教育が主体となり今日に至っております。今や、わが国は、他の先進諸国と同様に高齢化社会を迎え、より高度な看護と優秀な人材を確保することは緊急を要する状況となってきました。その対策の一つとして看護の専門教育、看護研究に携わる指導者の育成が重要な課題であります。

こういった社会的背景を考え、少しでもお役に立ちたく看護の教育者や研究者を指して内外の大学院や研究施設で学ぶ看護婦に対し研究助成事業を行う公益信託を設定することにしました。

平成二年一月三〇日

委託者 大久保ふみ子

(平成一六年一二月六日ご逝去)